

太陽エネルギー学習会報告

主催：東京都生協連環境対策連絡会

会場：東京都生協連会館

開催日時：2010年3月25日（木）10時30～12時30

参加：パルシステム東京、東都生協、生活クラブ、東京保健生協、生協・消費者住宅センター、東京都生協連 計34名

開催主旨と対象者

- (1) 家庭からのCO₂削減を進めるために東京都と連携して「太陽エネルギー利用機器導入」促進に取り組めます。
- (2) その為に太陽エネルギー利用に興味をもっている生協組合員に東京都が取り組む補助金拠出を含めた制度を知っていただきます。
- (3) 参加者は、太陽エネルギー利用による、環境価値、具体的な導入方法、コスト、リスクを分かりやすく説明します。

講演：東京都が目指す住宅用太陽エネルギー利用拡大

講師 谷口 信雄さん 東京都環境局環境政策部主査

地球温暖化の現状と今後の気温上昇による世界で予測される影響、地球温暖化を止めるにはどうしたらよいか、家庭からのCO₂削減を進めるための東京都の温暖化対策についてスライドを使い分かりやすくお話いただきました。

大量のCO₂排出者として、自覚と覚悟が必要

地球温暖化を止めるには、気温上昇を2℃以下に抑えなければならない。原因は温室効果ガスの排出である。低炭素化への転換が必須。

危機感の認識を持ち正面から向き合うことが必要。先進国と開発途上国の公平性と責任の観点からも、途上国は基本的生活水準達成に排出増加が必要だが、先進国は約70%～約90%の排出削減が必要。日本人は、大量のCO₂排出者であることを理解し、責任の自覚と覚悟をもとう。

CO₂を大量に排出している大都市 東京都の使命

東京都は気候変動がもたらす脅威から都民の生命、財産、健康を守り、大都市東京の持続可能な発展をめざす使命がある。東京都は住宅太陽エネルギー利用機器の拡充のために、大幅な補助金を交付している。太陽光発電のコストを考えると、区市町村、都、国の補助金、余剰電力売り分、自家消費支払分削減で約10年で投資回収可能。家庭における太陽エネルギーの利用から温暖化を回避し、持続可能社会への転換を官民連携しすすめていこうというお話があった。

温暖化対策の切り札！ソーラー入門

田中 稔さん NPO 法人太陽光発電所ネットワーク

ソーラー発電の仕組みと自家消費と売り電・買い電、太陽電池パネルなどについて具体的なお話を頂いた。



学習会終了後には、個別の導入にあたっての質疑を受ける時間を設定。多くの参加者が残り熱心に説明を受けていました。